

グループ銀行の概要

りそな銀行

貸出金・預金の推移(単体)			損益の推移(単体)		
(単位:億円)			(単位:億円)		
2014/3末	2015/3末	2016/3末	2014/3期	2015/3期	2016/3期
貸出金	176,939	183,762	業務粗利益	3,680	3,910
預金・譲渡性預金	233,969	243,547	経費	△2,190	△2,198
		184,819	実勢業務純益*	1,489	1,711
		244,780	与信費用	315	248
			当期純利益	1,534	1,499
					1,008

自己資本比率の推移(連結・国内基準)		
(単位:億円)		
2014/3末	2015/3末	2016/3末
自己資本の額	15,475	14,650
リスク・アセット等*	115,724	107,861
自己資本比率(%)	13.37	13.58
		12.77

* リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計測手法は、先進的内部格付手法(A-IRB)です。

りそな銀行の業務粗利益は、預貸金利回り差の縮小に伴う資金利益の減少を、貸出金の増加、役員取引等利益・債券関係損益の増加により一部補完して、3,835億円(前期比△75億円)となりました。実勢業務純益は、経費が改善したことにより1,694億円(前期比△16億円)となりました。当期純利益は、貸倒引当金の戻入一巡等に伴う与信費用の増加や、株式等関係損益の減少等により1,008億円(前期比△491億円)となりました。

埼玉りそな銀行

貸出金・預金の推移(単体)			損益の推移(単体)		
(単位:億円)			(単位:億円)		
2014/3末	2015/3末	2016/3末	2014/3期	2015/3期	2016/3期
貸出金	66,924	68,685	業務粗利益	1,355	1,363
預金・譲渡性預金	114,449	117,180	経費	△754	△768
		69,769	実勢業務純益*	600	595
		123,196	与信費用	△11	△22
			当期純利益	374	352
					402

自己資本比率の推移(単体・国内基準)		
(単位:億円)		
2014/3末	2015/3末	2016/3末
自己資本の額	4,355	4,140
リスク・アセット等*	32,484	29,024
自己資本比率(%)	13.40	14.26
		13.78

* リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計測手法は、先進的内部格付手法(A-IRB)です。

埼玉りそな銀行の業務粗利益は、預貸金利回り差の縮小に伴う資金利益の減少を、役員取引等利益・債券関係損益の増加等により補完し、1,374億円(前期比+10億円)となりました。実勢業務純益は、経費が改善したことにより626億円(前期比+31億円)となりました。当期純利益は、与信費用の減少や株式等関係損益の増加等により402億円(前期比+49億円)となりました。

近畿大阪銀行

貸出金・預金の推移(単体)			損益の推移(単体)		
(単位:億円)			(単位:億円)		
2014/3末	2015/3末	2016/3末	2014/3期	2015/3期	2016/3期
貸出金	25,557	24,741	業務粗利益	517	530
預金・譲渡性預金	33,919	33,069	経費	△381	△386
		24,356	実勢業務純益*	136	144
		32,668	与信費用	△32	17
			当期純利益	59	112
					223

自己資本比率の推移(連結・国内基準)		
(単位:億円)		
2014/3末	2015/3末	2016/3末
自己資本の額	1,768	1,480
リスク・アセット等*	13,385	13,541
自己資本比率(%)	13.20	10.93
		11.16

* リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計測手法は、基礎的内部格付手法(F-IRB)です。

近畿大阪銀行の業務粗利益は、預貸金利回り差の縮小に伴う資金利益の減少等を債券関係損益の増加により、一部補完して、510億円(前期比△20億円)となりました。実勢業務純益は経費が改善したことにより134億円(前期比△9億円)となりました。当期純利益は、貸倒引当金の戻入、税効果会計の見直し等により223億円(前期比+110億円)となりました。

* 実勢業務純益は、業務粗利益(信託勘定に係る不良債権処理額を除く)から人件費等の経費を差し引いたものです。